

ホワイトデーに贈る恋の歌

～6世紀の時を駆け抜けて～



講師
宮崎 晴代 (中世・ルネサンス音楽学者)

昔から人々の生活と共にあった“音楽”について、
聴くだけでなく色々な視点から学ぶことで、更にその楽しさを深めましょう！
第1回目は中世・ルネサンス音楽研究の第一人者でありFM「古楽の楽しみ」
パーソナリティでもある宮崎晴代先生に、ホワイトデーにちなんで12世紀から
18世紀にかけて歌われた恋の歌の数々についてお話していただきます。
ミニコンサートでは、ルネサンスからの流れに沿うバロック音楽をお届けいたします。



2025 **3.14** (金)

会場 **東北大学加齢医学研究所**
スマート・エイジング研究棟1階 国際会議室

聴講料 **無料** ※3月7日(金)までに予約が必要です

出演 我妻 万希子(メゾソプラノ) 田中 孝子(ヴィオラ・ダ・ガンバ)
八巻 梓(スピネット) 田原 さえ、建部 紘子(ピアノ)
東北大学星陵アンサンブル

予約申し込み方法

QRコード、或いはメールにてお申し込みください。
折り返し、メールにてお申込みの確認をお知らせいたします。



お問い合わせ

Tel(MHKS):070-6625-9244 E-mail(MHKS):info@mhks.jp

当日のみご連絡先:022-717-8952 (東北大学スマート・エイジング学際重点研究センター)

第一部

15:00～ **開場**
(ウェルカムコンサートあり)

15:30～16:15 **講座**

～休憩～

第二部

16:25～16:45 **ミニコンサート**

演奏曲目

《オンブラ・マイ・フ》

《私を泣かせてください》(ヘンデル)

《神秘のバリケード》(F.クーラン)

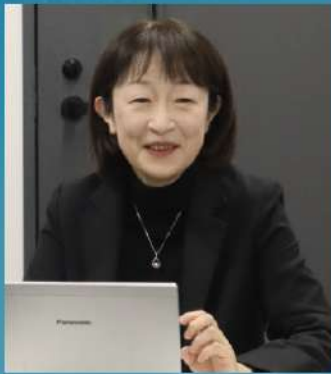
《この森の中で》(シャルパンティエ)

他



プロフィール

宮崎 晴代 みやざきはるよ



武蔵野音楽大学大学院修士課程音楽学専攻修了。アメリカ・フロリダ州立大学大学院博士課程に学び、Certificate in Early Music を取得後、東京大学先端科学技術研究センター協力研究員として、音楽における時間論と記譜法を研究する。中世・ルネサンス時代の音楽理論研究を行う一方、中世音楽合唱団に所属し、演奏活動も行っている。音楽学を皆川達夫、永田仁、カイト・ポウエル、チェンバロをキャロル・ロワナーの各氏に師事。著書『バロック音楽の名曲』、共訳書『グロケイオ「音楽論」全訳と手引き』、『ミクロログス（音楽小論）：全訳と解説』、論文“New light on Ockeghem’s Missa ‘Mi-mi’” Early Music, xiii 1985, 365-375, “The Acceptance of Studies on European Medieval and Renaissance Music in Japan” FONTES ARTIS MUSICAE, 2021.8-3: 245-254 などの他、執筆多数。全日本合唱連盟『全日本合唱コンクール』課題曲（ルネサンス部門）の解説および楽譜の監修を担当。東京藝術大学、慶應義塾大学、武蔵野音楽大学、昭和音楽大学、フォンス・フローリス古楽院、各講師。NHK-FM「古楽の楽しみ」のパーソナリティ担当。日本音楽学会、国際音楽学会、アメリカ音楽学会、西洋中世学会各会員。音楽資料情報協会 (RILM) 委員長。「全日本合唱コンクール」全国大会審査員。



我妻 万希子 あずままきこ / メゾソプラノ

国立音楽大学声楽科卒業。パリ市の区立音楽院を経てイギリス、ロンドンにあるギルドホール音楽演劇学校古楽科を修了、修士号取得。オペラでは《カルメン》メルセデス、《ヘンゼルとグレーテル》ゲルトルートなどを演じる。また、モーツァルト作曲《レクイエム》、ベルゴレージ作曲《スタバトマーテル》等でソリストを務める。2024年にはシューマン作曲《女の愛と生涯》全曲演奏によるリサイタルを開催し、好評を博す。ピアノマスタークラスでのレッスンやパスカル・ヴェロ氏による指揮者講習会などでフランス語通訳を務める。2017年よりフランス語歌唱の研鑽を積むため再び渡仏。2021年3月より宮城県在住。日本声楽発声学会会員。



田中 孝子 たなか たかこ / ヴィオラ・ダ・ガンバ

福岡県行橋市出身。フランス・グルノーブル国立音楽院古楽器科修了。ヴィオラ・ダ・ガンバをC. アルヌー、チェンバロと通奏低音をA. ピュミール、室内楽をCh. マゾー各氏に師事。欧州のマスタークラスにてW. クイケン、M. ミューラー、V. ギエルミ各氏のレッスンを受ける。読売新聞社主催第74回新人演奏会出演。フランス語の文献講読に積極的に取り組み、M. コレット著『クラヴサン奏法の師（1753）』を来形亜樹子氏とともに抄訳。S. ミリヨ著『マラン・マレ（1991）』の一部翻訳をヴィオラ・ダ・ガンバ協会会報に連載。2010年に東京でソロ・リサイタルを開催。以降、関東・仙台・福岡を拠点に演奏及び教育活動を行っている。仙台市在住。ブログ：<http://takako.blog83.fc2.com>



八巻 梓 やまき あずさ / スピネット

桐朋女子高等学校卒業、桐朋学園大学音楽学部、バリ地方音楽院を経て、プリンス・クラウス音楽院（オランダ）修了。さらに同音楽院にて、ハーブシコード、フォルテピアノも学ぶ。これまでに仙台とオランダでのピアノソロリサイタル開催、ルーマニア国内の交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団と共演。オランダ留学中には、プログラムに応じて複数の歴史的楽器を使い演奏会も企画、出演。また、宮城県美術館主催、令和四年度公演会に出演、墨象とコラボレーションし好評を博す。現在、後進の指導にあたりながら、ソロや室内楽をはじめ、伴奏ピアニストとしても積極的に演奏活動を行う。ピアノを松本映子、富永睦子、竹内啓子、本村久子、故御木本澄子、ジャン＝マリー・コテ、ポール・コーメンの各氏に、楽曲分析を佐々木隆二氏に師事。

【東北大学スマート・エイジング学際重点研究センター】

本センターでは、超高齢社会における個人と社会の活力維持とスマート・エイジングの実現を目指しています。国内外の研究機関と連携し、様々な企業と共同研究を行うことで、子どもから高齢者まで全ての世代を対象に、ライフステージに合わせた幅広い研究を推進しています。研究による知見を社会に還元し、社会実装に結び付けていくことを重視しています。

【一般社団法人ミュージックプロデュース MHKS】

2008年、質の高いクラシック音楽を気軽に楽しんでもらいたいという想いから、任意団体としてMHKS（エムエイチケーズ Music for Hearts Keeping on Smile）を結成し、様々なコンサート等を手がけてきました。その後2019年に一般社団法人となり、更に音楽を通しての幅広い社会貢献にも力を注いでいます。

アクセス

東北大学加齢医学研究所 スマート・エイジング研究棟1階 国際会議室

■バスご利用の場合

仙台駅西口バスプール9番のりばから「899・S999 系統 子平町・北山循環」に乗車、加齢医学研究所近隣バス停（東北大学病院前、歯学部・東北会病院前、皇陵町）下車。所要時間約15分。

■地下鉄ご利用の場合

仙台駅から仙台市営地下鉄南北線「泉中央」行きに乗車、北四番丁駅下車。所要時間5分+徒歩約15分。

